

青森県地域密着型金融推進プラン (略称:リレバン推進プラン)

～ リレバンの先進県を目指して ～

県内中小企業の金融円滑化に向けた、今後5年間(平成25年度～平成29年度)の県としての基本的な取組方針

本プランの
目指す状態

「中小企業は、金融機関に対し、自社の経営実態等に関する情報を積極的に提供し、金融機関からは、当該情報に基づく最適な金融サービスが提供されている。」という親密な関係を長く維持することにより、県内中小企業がその持てる力を存分に発揮できる金融環境が整っている状態(=地域密着型金融の実現)。

県内の
諸情勢

【社会経済情勢】

- 中小企業数の減少
 - 低水準の貸出金利
 - 貸出金残高の減少
 - 地価の下落
- 企業を育てるビジネス
モデルへの転換必要
→従来型の不動産担保主義に限界

【リレバン・レポートより】

- 試算表は3割、資金繰り表は7割が作成せず
- 金融機関への自発的な情報提供は1割に満たず
- 情報提供を受けた金融機関の積極的対応は7割
- 金融機関のコンサルティング機能への満足度低い

克服すべき
課題

【課題1】

中小企業による的確な情報提供

中小企業が、金融機関に対して、いかに的確に自社の経営実態等に関する情報を提供するか。

【課題2】

適切な資金供給機能の提供

金融機関が、中小企業に対して、いかに適切な資金供給機能を提供するか。

【課題3】

質の高いコンサルティング機能の提供

金融機関が、中小企業に対して、いかに質の高いコンサルティング機能を提供するか。

取組方針

- ①経営者の意識改革
- ②中小企業のスキルアップ
- ③中小企業の経営実態等の提供に係る情報不足の解消
- ④金融機関側の受入体制の強化

- ①不動産担保や個人保証に過度に依存しない資金供給機能の提供
- ②中小企業のライフステージに応じた適切な資金供給機能の提供
- ③多様な資金供給の担い手との連携強化

- ①的確な中小企業ニーズの把握
- ②コンサルティング機能の強化
- ③外部機関との連携による質の高いコンサルティング機能の提供
- ④企業再生支援体制の強化

本プランの
着実な推進
のために

①各機関の連携による取組を強化
「リレバン推進ワーキンググループ」を常設化のうえ、連携実行機関とし、各機関各々の取組と2つの実行エンジンでプランを推進する。

②「リレバン・レポート」の発信強化
「リレバン・レポート」の発信力を強化し、中小企業の地域密着型金融に対する理解を促進する。

③制度金融運営協議会の機能強化
青森県中小企業再生支援協議会をメンバーに加え、地域密着型金融の取組と企業再生との連携を強化する。

リレバン推進ワーキンググループ活動中間報告 (平成28年度アクションプラン進捗状況報告)

平成28年11月4日

1 構成メンバー

(順不同、敬称略)

機関名	職名	氏名
青森銀行	法人営業部 融資企画課 主査	川村 隼太
みちのく銀行	営業戦略部	駒谷 正人
青い森信用金庫	営業戦略部 次長	松岡 毅
東奥信用金庫	融資部 融資課 課長代理	小山内 史人
青森県信用組合	審査部 次長	我満 金幸
青森県信用保証協会	業務部 業務課 課長補佐	對馬 麗香
青森商工会議所	中小企業振興部長	鳥谷部 義彦
弘前商工会議所	中小企業相談所 経営支援課長	野呂 和宏
八戸商工会議所	中小企業相談所 経営支援2課長	中村 剛志
青森県中小企業団体中央会	連携支援部 連携支援2課 主幹	高野 誠
青森県商工会連合会	広域指導課 参事	塩谷 栄二郎
青森県中小企業再生支援協議会	副統括責任者	石橋 浩之
青森県	商工政策課 商工金融GM	間山 智幸
青森県	商工政策課 主幹	中村 三義
青森県	商工政策課 主査	富田 俊
青森県	商工政策課 主事	月舘 友寛

2 開催状況

- 第1回 平成28年5月10日(火)
 - ・これまでの取組及び今後の進め方について
 - ・アクションプランの検討について

- 第2回 平成28年7月1日(金)
 - ・アクションプランに基づく今後の取組について
 - ・アクションプランの取組項目について

- 第3回 平成28年9月1日(木)
 - ・アクションプランの取組項目について

- 第4回 平成28年10月20日(木)
 - ・アクションプランの取組項目について
 - ・「リレバン・レポート'16」について

3 アクションプラン各項目の取組概要

(1) リレバン・レポートの充実強化

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動状況	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ①WGが、今年度作成する「リレバン・レポート」の重点テーマ等について検討する。 ②WGが、検討テーマ等を踏まえたアンケート調査項目等を具体的に設定する。 ③県が、「リレバン・レポート」作成に向けたアンケートを実施する。 ④金融機関や商工団体等が、リレバン推進プランの課題に対応した取組状況等の実績を確認する。(資料編) ⑤県が、アンケートを取りまとめ、各機関の意見等を踏まえて「リレバン・レポート'16」として作成する。 	<p>□リレバン・レポート'16作成に向けた検討</p> <p>今年度のリレバン・レポート作成に向け、中小企業向け及び金融機関職員向けアンケートの調査項目、資料編の掲載内容等について検討・整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○県内企業2,500社にアンケートを実施 ○県内本店の金融機関職員にアンケートを実施 ○集計結果の分析 ○リレバン推進プランの課題克服に向けた取組成果(資料編)を取りまとめ

(2) リレバン・レポートの発信強化

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動状況	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ①商工団体や金融機関等が、県による「リレバン・レポート」等の説明機会を検討する。 ②県が、説明可能な商工団体等の主催行事等を定期的に確認し、希望があった場合には開催に向けて調整する。 ③商工団体等の主催行事等において、県がリレバン・レポートを説明する。 ④県が、受講者に対してアンケートを実施する。 	<p>□リレバン・レポート等の説明</p> <p>中小企業、経営指導員等を対象とする商工団体等主催の研修会等において説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/24 弘前商工会議所小規模企業振興委員連絡会議 ・6/14 経営指導員等研修会 <p>□アンケートの作成・実施</p> <p>説明への評価や受講者の気付き・業務への活用・意見把握等のためのアンケートを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明に対する評価:「理解できた」「どちらかといえば理解できた」という意見多数 ・業務への活用:試算表等の重要性を経営指導の中で周知していきたいという意見等 	<ul style="list-style-type: none"> ○説明機会を確認し県が説明

(3) 試算表等作成に向けた情報ツールの周知

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動状況	今後の取組
<p>①県が、支援情報を掲載するホームページを管理する(最新情報を随時更新)。 ②金融機関や商工団体等が、企業に対して支援情報の周知を図る。</p>	<p>□試算表等作成に向けた支援情報掲載ホームページの更新及び周知の強化 試算表等作成に資する情報(試算表等作成のメリット、作成支援ツール、セミナー等開催情報等)を掲載したホームページへのアクセスの改善及び周知用チラシの内容を直近のリレバン・レポートのデータに更新</p>	<p>○各機関が企業へ周知</p>

(4) 地公体融資制度の利用促進

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動状況	今後の取組
<p>①県が、県内市町村における制度内容を取りまとめ、わかりやすく整理した資料(「目的別早見表」及び「制度一覧表」)を関係機関に提供する。 ②金融機関融資担当者等が、企業からの融資申込時に活用する。 ③必要に応じて、県融資制度についての意見交換</p>	<p>□目的別早見表等の作成 金融機関融資担当者等の業務効率化のため、県・市町村融資制度の「目的別早見表(地域)」及び「一覧表」を作成、関係機関に送付し各機関において有効に活用 □目的別早見表等を県ホームページで公表 WGでの意見を踏まえ、誰でも見ることができるよう県ホームページに掲載 □県融資制度についての意見交換 利用促進に向けた課題や新たなアイデア等について意見交換</p>	<p>○各機関での活用により円滑に対応</p>

(5) 各種情報の企業への周知徹底

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動状況	今後の取組
<p>①県が、各種情報を取りまとめ、「リレバン推進情報メールマガジン」として各機関に対し定期的に配信する。</p> <p>②各機関が、企業に対して適切に周知(徹底)する。</p>	<p>□『リレバン推進情報メールマガジン』の定期的な配信 県が、中小企業支援に資する各種施策情報(補助・助成金、イベント・セミナー等)を取りまとめ、特徴やセールスポイントを明確にした情報により、中小企業支援機関に対してメールマガジンとして定期的に(隔週)配信</p> <p>□企業に対しての周知(例) ・ホームページにメルマガの内容を閲覧できるページを作成し会員に周知(弘前商工会議所)</p>	<p>○定期的な情報発信を継続</p>

(6) 技術等に関する知識の習得

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動状況	今後の取組
<p>①INAが、金融機関向けに技術等に関するコーディネーターの養成講座を開催する。</p> <p>②①とは別に、WGが、県内学術研究機関の研究内容等の研修について、依頼内容を検討する。</p> <p>③WGが、INAへ開催を依頼する。</p> <p>④INAが、中小企業支援担当者向けに研修会を開催する。</p> <p>⑤研修会において、INA等が、受講者に対してアンケートを実施する。</p> <p>※INA:イノベーション・ネットワークあおもり</p>	<p>□講座・セミナーの開催</p> <p>○金融機関向けに、革新的ものづくり・商業・サービス開発に係る補助金の効果的な活用をテーマとしたセミナーを開催予定</p> <p>〔イノベーションネットワークあおもりものづくり 補助金活用セミナー(11/8,11/9)〕</p> <p>○研究機関による企業支援事例や企業と他機関とのコーディネート事例等を研修内容としたセミナーの開催をINAに依頼(INAにおいて現在検討中)</p>	<p>○今後予定しているセミナーの開催</p>

(7) 経営支援及び融資に関する情報・ノウハウの習得

取組内容(アクションプラン)	これまでの活動状況	今後の取組
<p>①WGが、研修メニューを検討する。</p> <p>②金融機関や商工団体等が、研修機会を検討する。</p> <p>③県が、希望機関から研修開催に対するニーズ(テーマ、時間、場所、対象者、人数等)を確認し、開催に向けて調整する。</p> <p>④講師担当機関(または受講機関)が、中小企業支援担当者向けに研修会を開催する。</p> <p>⑤研修会において、県が、受講者に対してアンケートを実施する。</p>	<p>□研修メニューの検討 経営支援機能の向上のために実施する研修について、開催を希望する分野等を確認</p> <p>□研修メニューの絞り込み 複数の支援機関の参加が見込まれる「中小企業の海外展開」に係る研修について、今後開催に向けて調整する。</p>	<p>○今後予定している研修の開催</p>
<p>①WGが、連携・コーディネート機能を強化する上で、各機関が必要とする情報や連携により解決したい課題を抽出する。</p> <p>②抽出された情報や課題が、各機関と連携できる取組がどうかをWGで整理する。</p> <p>③組織として連携可能な取組がある場合、具体的な連携方法について協議する。</p>	<p>□連携・コーディネート機能を強化するための自由な意見交換を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他自治体における連携事例の紹介 ・本県における金融機関等と商工団体等との連携の現状を確認 など 	<p>○検討を継続</p>

「リレバン・レポート‘16」について(案)

(今年度のアンケートのポイント)

ポイント

重点テーマ

新規

1. 中小企業と金融機関の相互理解促進(金融機関向けにもアンケートを実施)

- 中小企業と金融機関の意識や期待のギャップを把握
【企業向けQ8, Q17, 19, 20, 22】【金融機関向けQ1, 2, 8】
- 提供を受けた経営課題解決方策等がもたらした具体的効果
【企業向けQ18, 21】
- 金融機関と他の支援機関との連携状況
【企業向けQ23, 24】【金融機関向けQ3~7】

強化

2. 中小企業の意識改革やスキルアップに向けて

- 試算表・資金繰り表・事業計画の作成が企業にもたらす効果
【企業向けQ11, 13, 15, 16】

継続

3. リレバンの取組に対する評価の定点観測(継続調査)

- 総合満足度/個別項目満足度・期待度
【企業向けQ1, 2, 9】
- 謝絶経験の有無等
【企業向けQ3】
- 試算表・資金繰り表・事業計画等の作成状況
【企業向けQ10, 12, 14】
- 融資の謝絶時における金融機関からのフォローの実態と評価を把握
【企業向けQ4~7】

継続

4. 金融機関の資金供給機能に関するデータ

- 貸出金量(中小企業向け貸出)、預貸率、ABL、私募債等の多様な資金供給の状況
- 経営支援(企業のスキルアップ支援、ビジネスマッチング、経営改善支援等)の取組状況

金融機関の融資業務等に関するアンケート調査（案）

県では、県内中小企業金融の円滑化を図るため、地域密着型金融（※）の推進を支援しています。

このアンケート調査は、普段のお取引が最も多い金融機関(メインバンク)等について、その融資業務等に関する中小企業者の皆様のご意見をお聞かせいただき、今後の地域密着型金融の推進のための基礎データとすることを目的として実施するものです。

アンケート調査結果は、平成29年2月に「リレバン・レポート'16」として公表することを予定しています。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、趣旨をお汲み取りいただき、率直なご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

平成28年11月 日

青森県商工労働部商工政策課長

（※）地域密着型金融（リレーションシップ・バンキング＝リレバン）

金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより、顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に金融サービスの提供を行っていくこと。

<ご記入にあたって>

- 本アンケートは、普段のお取引が最も多い金融機関(メインバンク)の融資業務等についてお伺いします。
- 本アンケートは統計的に集計し、回答者が特定されたり、目的外に利用することは一切ありません。
- ご回答の方法や本アンケートの趣旨について、ご不明の点がありましたら、下記の担当までお問い合わせください。

〔担当〕 青森県商工労働部商工政策課 商工金融グループ 中村
〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL 017-722-1111 (内線3623) 017-734-9368 (直通)
FAX 017-734-8106
E-mail:miyoshi_nakamura@pref.aomori.lg.jp

※県では、昨年も同様のアンケート調査を実施しており、その結果は「リレバン・レポート'15」として公表しています。

「リレバン・レポート'15」は、こちらでご覧いただけます。

(青森県ホームページ)

http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/shoko/shoko/files/280210_report15.pdf

Q 1 御社で、普段の取引が最も多い金融機関(メインバンク)はどちらですか。該当する金融機関の番号に○印をおつけください(○印は1つ)。

- | | | |
|-------------------------------|------------|------------|
| 1. 青森銀行 | 2. みちのく銀行 | 3. 青い森信用金庫 |
| 4. 東奥信用金庫 | 5. 青森県信用組合 | 6. 県外地方銀行 |
| 7. 政府系金融機関(日本政策金融公庫、商工組合中央金庫) | | |
| 8. その他(具体的に) | | |

Q 2 Q 1で選んだ金融機関(メインバンク)に対する総合的な満足度について伺います。該当する番号に○印をおつけください(○印は1つ)。

大変満足 かなり満足 まあ満足 普通 やや不満 かなり不満 大変不満

1	2	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---

Q 3 Q 1で選んだ金融機関(メインバンク)について伺います。この1年間でこれまでに、融資や条件変更(金利の引き下げ、金利・元本の支払い猶予、返済期限の延長など)を申し込んで断られたことがありますか。それぞれ該当する番号に○印をおつけください(○印は1つずつ)。

(融資について)

- | | | |
|-------|-------|-------------|
| 1. ない | 2. ある | 3. 申し込んでいない |
|-------|-------|-------------|

(条件変更について)

- | | | |
|-------|-------|-------------|
| 1. ない | 2. ある | 3. 申し込んでいない |
|-------|-------|-------------|

※融資、条件変更の両方とも「1. ない」又は「3. 申し込んでいない」を選択した方→Q 8へ

Q 4 Q 3でいずれか1つでも「2. ある」とお答えの方に伺います。断られた理由についてどのような説明を受けましたか。該当する番号に○印をおつけください(○印はいくつでも)。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 返済財源に乏しいから | 2. 資金使途の妥当性がないから |
| 3. 事業計画の達成可能性が低いから | 4. 社外保証人をつけられないから |
| 5. 担保余力がないから | 6. これまでの返済状況が良くないから |
| 7. 総合的な判断によるもの | |
| 8. その他(具体的に) | |

Q5 Q3でいずれか1つでも「2. ある」とお答えの方に伺います。断られた理由の説明について納得しましたか。該当する番号に○印をおつけください（○印は1つ）。

1. 納得した

2. 納得しなかった

Q6 Q3でいずれか1つでも「2. ある」とお答えの方に伺います。断られた理由のほかに、今後に向けたアドバイスや提案はありましたか。該当する番号に○印をおつけください（○印は1つ）。

1. アドバイス・提案があった→Q7へ

2. アドバイス・提案はなかった→Q8へ

Q7 Q6で「1. アドバイス・提案があった」とお答えの方に伺います。それは具体的にどのような内容ですか。

()

Q8 御社が融資を受ける際に（受けるとしたら）、金融機関への説明で特に重点を置くことはどのようなことですか。該当する番号に○印をおつけください（○印は3つまで）。

1. 事業計画の達成可能性

2. 自社における商売の仕組み

3. 自社の将来像

4. 自社の持つ強み・優位性・セールスポイント

5. 自社の業況・課題

6. 資金繰りに無理がないか

7. 経営者自身の資質

8. 決算書の詳細な内容

9. その他（具体的に

)

Q9 Q1で選んだ金融機関（メインバンク）に対する以下のすべての項目の満足度について、該当する番号に○印をおつけください（○印はそれぞれ1つ）。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
職員の訪問回数	1	2	3	4	5	6
職員の知識・対応	1	2	3	4	5	6
融資申込手続きの簡単さ	1	2	3	4	5	6
融資審査のスピード	1	2	3	4	5	6
融資や条件変更（金利の引き下げ、金利・元本の支払い猶予、返済期限の延長など）への対応	1	2	3	4	5	6
担保や保証人に依存しない融資	1	2	3	4	5	6
職員の目利き力（企業の将来性・技術力などを的確に評価する能力）	1	2	3	4	5	6
試算表、資金繰り表、事業計画等の作成指導	1	2	3	4	5	6
新分野進出や新事業展開の相談に対する対応・支援	1	2	3	4	5	6
経営改善、事業再生、事業承継の相談に対する対応・支援	1	2	3	4	5	6
新商品開発・技術研究開発支援	1	2	3	4	5	6
販路開拓の支援	1	2	3	4	5	6
各種融資制度や補助金の紹介などの情報提供	1	2	3	4	5	6
地域のさまざまな活動への協力・協賛など地域社会への貢献	1	2	3	4	5	6

(回答例)

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない
職員の訪問回数	1	②	3	4	5	6
職員の知識・対応	①	2	3	4	5	6
融資申込手続きの簡単さ	1	2	③	4	5	6
地域のさまざまな活動への協力・協賛など地域社会への貢献	1	2	3	4	⑤	6

Q10 御社では、「試算表」を作成していますか。該当する番号に○印をおつけください（○印は1つ）。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 毎月作成している | 2. 四半期毎に作成している |
| 3. 半期に1度作成している | 4. 作成していない→Q12へ |

Q11 Q10で「1～3」とお答えの方に伺います。「試算表」の作成によって実感しているメリット（効果）は何ですか。該当する番号に○印をおつけください（○印はいくつでも）。

- | |
|---------------------------|
| 1. 伝票や転記等のミスに早く気付く。 |
| 2. 削減すべき経費がわかる。 |
| 3. 売掛金・買掛金の残高や発生状況を把握できる。 |
| 4. 売上や利益の目標達成状況がわかる。 |
| 5. キャッシュフローがわかる。 |
| 6. 金融機関との関係が以前より良好になった。 |
| 7. 実感しているメリットはない。 |
| 8. その他（具体的に |

Q12 御社では、「資金繰り表」を作成していますか。該当する番号に○印をおつけください（○印は1つ）。

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 作成している | 2. 作成していない→Q14へ |
|-----------|-----------------|

Q13 Q12で「1. 作成している」とお答えの方に伺います。「資金繰り表」の作成によって実感しているメリットは何ですか。該当する番号に○印をおつけください（○印はいくつでも）。

- | |
|---------------------------|
| 1. 事業資金を借り入れするタイミングがわかる。 |
| 2. 取引先との最適な契約条件を決定できる。 |
| 3. （経営者として）精神衛生上安心できる。 |
| 4. 余裕資金が把握でき、事業活動に再投資できる。 |
| 5. 資金の季節的な動きの特徴を把握できる。 |
| 6. 金融機関との関係が以前より良好になった。 |
| 7. 実感しているメリットはない。 |
| 8. その他（具体的に |

Q14 御社では、「事業計画（3年程度先までの中期事業計画）」を作成していますか。該当する番号に○印をおつけください（○印は1つ）。

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 作成している | 2. 作成していない→Q16へ |
|-----------|-----------------|

Q15 Q14で「1. 作成している」とお答えの方に伺います。「事業計画」の作成によって実感しているメリットは何ですか。該当する番号に○印をおつけください（○印はいくつでも）。

1. 経営者としての考えが整理できた。
2. リスクや課題を把握できる。
3. 社員の考えや目標に対する意識が変わった。
4. 経営におけるPDCAサイクルの実践力が身についた。
5. 金融機関との関係が以前より良好になった。
6. 実感しているメリットはない。
7. その他（具体的に)

Q16 Q10（試算表の作成）、Q12（資金繰り表の作成）、Q14（事業計画の作成）において、いずれか1つでも「作成していない」とお答えの方に伺います。どのようなきっかけがあれば、「試算表」又は「資金繰り表」又は「事業計画」を作成しようと思いませんか。最もあてはまる番号に○印をおつけください（○印は1つ）。

1. 金融機関からの要請
2. 商工会議所・商工会・中小企業団体中央会からの指導・助言
3. 顧問税理士等からの助言
4. 研修やセミナーの受講機会
5. 自社の売上減少などの業績不振
6. 国等の支援制度の存在や貸付金利の優遇
7. その他（具体的に)

Q17 御社はこれまで、金融機関（メインバンク）からどのような情報提供を受けていますか。該当する番号に○印をおつけください（○印はいくつでも）。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 経済・金融・国際情勢 | 2. 地域情勢 |
| 3. 自社が属する業界動向 | 4. 取引先の業界動向 |
| 5. 主要市場の動向 | 6. 法務・税務情報 |
| 7. 経営課題の解決策 | 8. 金融機関の業務に関する情報 |
| 9. 金融商品に関する情報 | 10. 公的支援策に関する情報 |
| 11. 不動産売買に関する情報 | 12. 採用・研修など人材に関する情報 |
| 13. その他（具体的に |) |
| 14. 情報提供を受けていない。→Q19へ | |

Q18 Q17で金融機関（メインバンク）から情報提供を受けた方にお伺いします。金融機関からの情報提供は御社にどのような効果をもたらしましたか。該当する番号に○印をおつけください（○印はいくつでも）。

- | | | |
|-----------------|-------------|------------|
| 1. 財務内容の改善 | 2. 売上の増加 | 3. 事業の継続 |
| 4. 役職員の知識・技能の向上 | 5. 利益の増加 | 6. 事業分野の拡大 |
| 7. 社内管理体制の整備 | 8. 社員の士気向上 | |
| 9. 顧客満足度の向上 | 10. 補助金等の採択 | |
| 11. その他（具体的に | |) |
| 12. 具体的効果はなかった。 | | |

Q19 金融機関（メインバンク）から提供してほしい情報はどのようなものですか。該当する番号に○印をおつけください（○印はいくつでも）。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 経済・金融・国際情勢 | 2. 地域情勢 |
| 3. 自社が属する業界動向 | 4. 取引先の業界動向 |
| 5. 主要市場の動向 | 6. 法務・税務情報 |
| 7. 経営課題の解決策 | 8. 金融機関の業務に関する情報 |
| 9. 金融商品に関する情報 | 10. 公的支援策に関する情報 |
| 11. 不動産売買に関する情報 | 12. 採用・研修など人材に関する情報 |
| 13. その他（具体的に |) |

Q20 これまで金融機関（メインバンク）からどのような経営支援サービスを受けたことがありますか。該当する番号に○印をおつけください（○印はいくつでも）。

1. ビジネスマッチング（販売先等の紹介）
2. 自社ブランド力向上のためのアドバイス
3. 海外展開支援
4. 事業承継、M&A対策
5. 公的機関との連携による技術評価、製品化、商品化支援
6. 地方公共団体の補助金や制度融資の活用支援
7. 事業戦略・経営計画策定支援
8. 財務診断等計数管理に関するアドバイス
9. 固定費、経費等の削減方法
10. 税務・法務・労働相談
11. 組織・制度の見直し等、社内体制整備に関するアドバイス
12. 人材教育（セミナー、講師派遣）
13. 債務返済計画を含む経営改善計画の策定支援
14. 債務放棄を含む債務整理支援
15. その他（具体的に)
16. 経営支援サービスを受けたことはない。→Q22へ

Q21 Q20で金融機関（メインバンク）から経営支援サービスを受けた方にお伺いします。「金融機関」からの経営支援サービスは御社にどのような効果をもたらしましたか。該当する番号に○印をおつけください（○印はいくつでも）。

1. 財務内容の改善
2. 売上の増加
3. 事業の継続
4. 役職員の知識・技能の向上
5. 利益の増加
6. 事業分野の拡大
7. 社内管理体制の整備
8. 社員の士気向上
9. 顧客満足度の向上
10. 補助金等の採択
11. その他（具体的に)
12. 具体的効果はなかった。

Q22 金融機関（メインバンク）に期待する経営支援サービスはどのようなものですか。該当する番号に○印をおつけください（○印はいくつでも）。

1. ビジネスマッチング（販売先等の紹介）
2. 自社ブランド力向上のためのアドバイス
3. 海外展開支援
4. 事業承継、M&A対策
5. 公的機関との連携による技術評価、製品化、商品化支援
6. 地方公共団体の補助金や制度融資の活用支援
7. 事業戦略・経営計画策定支援
8. 財務診断等計数管理に関するアドバイス
9. 固定費、経費等の削減方法
10. 税務・法務・労働相談
11. 組織・制度の見直し等、社内体制整備に関するアドバイス
12. 人材教育（セミナー、講師派遣）
13. 債務返済計画を含む経営改善計画の策定支援
14. 債務放棄を含む債務整理支援
15. その他（具体的に)

Q23 Q20で金融機関（メインバンク）から経営支援サービスを受けたことがある方にお伺いします。金融機関から受けた経営支援サービスにおいて、他の支援機関（Q24に記載する各機関）と連携した対応はありましたか。

1. ある
2. ない→Q25へ

Q24 Q23で「1. ある」とお答えした方に伺います。金融機関と連携して支援を行った機関はどのような機関ですか。該当する番号に○印をつけてください（○印はいくつでも）。

1. 税理士・公認会計士・弁護士
2. 各商工会議所・各商工会・青森県中小企業団体中央会
3. 公益財団法人21あおもり産業総合支援センター（よろず支援拠点、中小企業再生支援協議会等を含む。）
4. 青森県産業技術センター
5. 県内の大学・高専
6. 国・県・市町村
7. 民間コンサルタント
8. 政府系金融機関[日本政策金融公庫・商工中金等]
9. 他の民間金融機関[銀行・信用金庫・信用組合]
10. 信用保証協会
11. その他（具体的に)

Q25 事業資金の調達など金融全般について、行政や金融機関等へのご意見・ご要望等を自由にご記入ください。

()

Q26 御社についてお伺いします。

- ・業種 (建設業 製造業 卸売業 小売業 運送業)
(不動産業 サービス業 その他)

※該当するものに○印をおつけください。

- ・従業員数 (名)

- ・直近(今期上期又は前期)の業績 (1. 上向き 2. 横ばい 3. 下向き)

※該当するものに○印をおつけください。

- ・現在の状況 (創業・新事業展開して5年以内 成長段階 安定期)
(経営改善が必要 抜本的な事業再生が必要)

※最も当てはまると思うもの1つに○印をおつけください。

- ・本店所在地 (市 町 村)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

融資業務等に関するアンケート調査（金融機関職員向け）（案）

県では、県内中小企業金融の円滑化を図るため、地域密着型金融（※）の推進を支援しています。

このアンケート調査は、営業店の融資業務等に関して、総括的に把握されている融資担当課長（支店長代理）である皆様のご意見をお聞かせいただき、今後の地域密着型金融の推進のための基礎データとすることを目的として実施するものです。

アンケート調査結果は、平成29年2月に「リレバン・レポート'16」として公表することを予定しています。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、趣旨をお汲み取りいただき、率直なご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

平成28年11月 日

青森県商工労働部商工政策課長

（※）地域密着型金融（リレーションシップ・バンキング＝リレバン）

金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより、顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に金融サービスの提供を行っていくこと。

<ご記入にあたって>

- 本アンケートは、普段の融資業務等についてお伺いします。
- 本アンケートは統計的に集計し、回答者が特定されたり、目的外に利用することは一切ありません。
- ご回答の方法や本アンケートの趣旨について、ご不明の点がありましたら、下記の担当までお問い合わせください。

〔担当〕 青森県商工労働部商工政策課 商工金融グループ 中村
〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL 017-722-1111（内線3623） 017-734-9368（直通）
FAX 017-734-8106
E-mail:miyoshi_nakamura@pref.aomori.lg.jp

※県では、毎年、県内中小企業向けにアンケート調査を実施しており、その結果は「リレバン・レポート」として公表しています。

直近のレポートである「リレバン・レポート'15」は、こちらでご覧いただけます。
（青森県ホームページ）

http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/shoko/shoko/files/280210_report15.pdf

【回答に当たっての留意事項】

- このアンケート上、お客様とは、事業性融資について取引がある先若しくは取引を推進したい先を指します。

Q 1 お客様が融資を受ける際に、金融機関への説明で特に重点を置いてほしいことはどのようなことですか。該当する番号に○印をおつけください（○印は3つまで）。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 事業計画の達成可能性 | 2. 自社における商売の仕組み |
| 3. 自社の将来像 | 4. 自社の持つ強み・優位性・セールスポイント |
| 5. 自社の業況・課題 | 6. 資金繰りに無理がないか |
| 7. 経営者自身の資質 | 8. 決算書の詳細な内容 |
| 9. その他（具体的に |) |

Q 2 お客様に提供している情報、経営支援サービスはどのようなことですか。該当する番号に○印をおつけください（○印はいくらでも）。

(提供している情報)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 経済・金融・国際情勢 | 2. 地域情勢 |
| 3. 自社が属する業界動向 | 4. 取引先の業界動向 |
| 5. 主要市場の動向 | 6. 法務・税務情報 |
| 7. 経営課題の解決策 | 8. 金融機関の業務に関する情報 |
| 9. 金融商品に関する情報 | 10. 公的支援策に関する情報 |
| 11. 不動産売買に関する情報 | 12. 採用・研修など人材に関する情報 |
| 13. その他（具体的に |) |
| 14. 特に上記のような情報提供はしていない。 | |

(提供している経営支援サービス)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. ビジネスマッチング（販売先等の紹介） | |
| 2. 自社ブランド力向上のためのアドバイス | |
| 3. 海外展開支援 | |
| 4. 事業承継、M&A対策 | |
| 5. 公的機関との連携による技術評価、製品化、商品化支援 | |
| 6. 地方公共団体の補助金や制度融資の活用支援 | |
| 7. 事業戦略・経営計画策定支援 | |
| 8. 財務診断等計数管理に関するアドバイス | |
| 9. 固定費、経費等の削減方法 | |
| 10. 税務・法務・労働相談 | |
| 11. 組織・制度の見直し等、社内体制整備に関するアドバイス | |
| 12. 人材教育（セミナー、講師派遣） | |
| 13. 債務返済計画を含む経営改善計画の策定支援 | |
| 14. 債務放棄を含む債務整理支援 | |
| 15. その他（具体的に |) |
| 16. 特に上記のような経営支援サービスを提供していない。 | |

Q6 次に掲げる外部支援機関が行っている企業向け支援業務の内容について、どの程度知っていますか。それぞれ該当する番号に○印をおつけください。（○印は1つ）。

(商工会議所・商工会・青森県中小企業団体中央会について)	
1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. あまり知らない	4. 全く知らない
(21 あおもり産業総合支援センターについて)	
1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. あまり知らない	4. 全く知らない
(青森県産業技術センターについて)	
1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. あまり知らない	4. 全く知らない

Q7 Q6で「3. あまり知らない」又は「4. 全く知らない」に1つでも○印をつけた方にお伺いします。どの支援機関のどのようなことを知りたいですか。自由にご記入ください。

支援機関の名称	ご意見

Q8 お客様に対する融資や経営支援である以下の項目についての自己評価として、該当する番号に○印をおつけください（○印はそれぞれ1つ）。

	十分対応 できている	ある程度対応 できている	どちらとも いえない	あまり対応 できていない	対応 できていない
職員の訪問回数	1	2	3	4	5
職員の知識・対応	1	2	3	4	5
融資申込手続きの簡単さ	1	2	3	4	5
融資審査のスピード	1	2	3	4	5
融資や条件変更（金利の引き下げ、金利・元本の支払い猶予、返済期限の延長など）への対応	1	2	3	4	5
担保や保証人に依存しない融資	1	2	3	4	5
職員の目利き力（企業の将来性・技術力などを的確に評価する能力）	1	2	3	4	5
試算表、資金繰り表、事業計画等の作成指導	1	2	3	4	5
新分野進出や新事業展開の相談に対する対応・支援	1	2	3	4	5
経営改善、事業再生、事業承継の相談に対する対応・支援	1	2	3	4	5
新商品開発・技術研究開発支援	1	2	3	4	5
販路開拓の支援	1	2	3	4	5
各種融資制度や補助金の紹介などの情報提供	1	2	3	4	5
地域のさまざまな活動への協力・協賛など地域社会への貢献	1	2	3	4	5

(回答例)

	十分対応 できている	ある程度対応 できている	どちらとも いえない	あまり対応 できていない	対応 できていない
職員の訪問回数	1	②	3	4	5
職員の知識・対応	①	2	3	4	5
融資申込手続きの簡単さ	1	2	3	④	5
地域のさまざまな活動への協力・協賛など地域社会への貢献	1	2	③	4	5

Q9 中小企業金融の円滑化について、中小企業や行政等へのご意見・ご要望等を自由にご記入ください。

()

Q10 貴金融機関（回答者所属支店）についてお伺いします。

・金融機関種別（ 1. 銀行 2. 信金信組 ）
※1又は2に○印をおつけください。

・所在地（ 市 町 村 ）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。